

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789,!.?*

28Q / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀
発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待っていた。とうに

20Q / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客
車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。
とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一
人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗いプラット
フォオムにも、今日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶つ
て、唯、檻に入れられた小犬が一匹、時々悲しそうに、

16Q / 24H

或曇った冬の日暮である。私は
横須賀発上り二等客車の隅に
腰を下して、ぼんやり発車の笛
を待っていた。とうに電燈のつ
いた客車の中には、珍らしく私
の外に一人も乗客はいなかった。
外を覗くと、うす暗いプラット
フォオムにも、今日は珍しく見